

①学習課題（中学校3年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「漢字を確認しよう」(P30)に挑戦しよう。

<取り組み方>

○答えについては、教科書に書き込まず、取組シートかノートに書いてみよう。

○P30に出てきた熟語（二字以上の漢字が組み合わさった語）から二つ選び、選んだ熟語を使って短文を作ってみよう。

- ・選んだ熟語ごとに、短文を作ってみよう。
- ・「誰が（何が）」、「どうした」のかが分かるような短文にしてみよう。

<学習のヒント>

○教科書P28の【新出漢字】（「握手」の新出漢字）も参考にしてみよう。

○分からない場合は、教科書P278～P305の「三年生で学習した漢字」「三年生で学習した音訓」「常用漢字表」を参考にしたり、辞書やインターネット等で調べてみたりしてみよう。どうしても分からない場合は、予想を書いておこう。

【社会】

<内容>

大正から昭和初期の文化や生活様式について調べて、取組シートやノートにまとめましょう。

<取り組み方>

○教科書P209～211の本文や資料から、この時代に人々が「大衆^{たいしゅう}」と呼ばれるようになった背景や、人々の生活様式の変化、文学について調べてまとめよう。

※P211「地域史」を読んで、考えたことを自分の言葉で簡単に書いてみよう。

<学習のヒント>

○教科書P209～P211の資料を参考に、大都市の発達や都市に住む人々の生活様式に着目して考えてみましょう。

【数学】

<内容>

これまで学習してきたことを使って考えよう。

※今週は、以下の2つのコースから選んで取り組もう！

考える力をつけたい人のコース

教科書 P44 の「乗法の計算を見直そう」について考えよう。

～ 34×36 を簡単に計算できるかな？～

計算力をつけたい人のコース

教科書 P23 の「確かめよう」に取り組み、学習したことを振り返ろう。

～単項式と多項式の乗法・除法、式の展開などについて整理しよう。～

<取り組み方>

考える力をつけたい人のコース

- ① 教科書 P44 の真ん中に書かれている方法で、1 の計算をしてみよう。
- ② 教科書 P45 の上の方に書かれている方法で、2 の計算をしてみよう。
- ③ 教科書 P45 の真ん中に書かれている図を参考にして、②の計算の方法が正しいことを説明してみよう。

※説明を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

計算力をつけたい人のコース

- ① 教科書 P23 の「確かめよう」に取り組もう。

※余裕のある人は、教科書 P24 の「計算力を高めよう 1」にも取り組んでみよう。
（解答は教科書 P284～285 にあります。）

- ② 単項式と多項式の乗法・除法、式の展開などについて整理してみよう。

<学習のヒント>

考える力をつけたい人のコース

- ③ 教科書 P45 の下の2人の会話を参考に、図の中に $10a$ 、 b 、 c を書き込もう。

次に、左の長方形の面積と右の2つの長方形の面積の和をそれぞれ式で表そう。

計算力をつけたい人のコース

- ① どのように計算したらいいか困ったときは、これまでの例題をまねして取り組んでみよう。（問題のすぐ左側にどのページの例題を参考にすればよいか書かれています。）
- ② ①で取り組んだことについて、ことばの意味や計算の仕方を考えてみよう。自分のことばでまとめるのが難しい場合は、教科書に書かれていることを参考に「取組シート」やノートに書いてみよう。

【理科】

<内容>

◆「動物の^{ゆうせいせいしょく}有性生殖」はどのように進んでいくか考えよう。

<取り組み方>

① 教科書 P12～13 を参考に、雌の^{めすらん}卵と雄の^{おすせいし}精子が成体^{せいたい}に変化していく流れに着目して、
図や言葉でまとめてみましょう

<学習のヒント>

・小学校5年生で学習した「メダカの誕生」の内容を思い出しながらまとめてみましょう。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。
各教科の学習を進める際に、お役立てください。



【英語】

<内容>

◆教科書 P12 の Basic Dialog は、電話で、まだ宿題を終えていない相手に終わったら折り返してほしいと頼む場面です。次のことに取り組みましょう。

（教科書 P111 の巻末 資料 1 で会話の内容を確認できます。）

<取り組み方>

2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。

★音声を聞きながら取り組む課題です。

- ・ Basic Dialog の会話文を読んで、どのような場面で、どのような内容の話をしているのか、1分間考えてみましょう。
- ・ ALT の先生の後に続いて、会話文を練習しましょう。
- ・ オレンジ色のパートになりきって、会話の内容に合わせて表現を工夫しやり取りしてみましょう。
- ・ 青色のパートになりきって、会話の内容に合わせて表現を工夫しやり取りしてみましょう。



★音声がなくても取り組むことができる課題です。

- ・ Basic Dialog の会話文を読んで、どのような場面で、どのような内容の話をしているのか、考えてみましょう。
- ・ 会話文を声に出して何度か言ってみましょう。
- ・ オレンジ色のパートになりきって、会話の内容に合わせて表現を工夫し、練習をしてみましょう。
- ・ 青色のパートになりきって、会話の内容に合わせて表現を工夫し、練習をしてみましょう。

※QRコードがうまく読み取れない場合は、札幌市教育委員会ホームページの「臨時休業中の学習課題」のページから音声を聞いてください。